

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 9日 更新

事務事業名		多面的機能支払交付金事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	6	産業の健幸	所属部	産業振興部	課長名 坂本 卓博
	施策	23	農業の振興	所属課	農政課	担当者名 菊池 勇陽
	業務分野	67	生産基盤の確保と経営力の強化	所属班	農地整備班	(内線) 5226
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 12	事業連番 10269 法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 19 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	地元住民で構成される活動組織に対し、活動補助金を交付する。(国50%、県25%、市25% 地元負担なし) 事業の内容は、農地維持支払交付金、資源向上支払交付金(共同活動)、資源向上支払交付金(長寿命化)の3つの項目に分かれており、農地維持支払交付金は、主に農道、水路等の草刈り泥上げの作業を行う。また、資源向上支払交付金(共同活動)の内容は、主に、農道、水路等施設の軽微な補修や、景観形成のための植栽、地域住民との交流活動等がある。 そして、資源向上支払交付金(長寿命化)は、農道舗装や、水路の更新、ポンプ更新等のハード事業を行うものである。
【業務の流れ】	①前年度の実績報告を取りまとめ後協議会、県、国に報告②交付金申請取りまとめ後協議会、県、国に提出③活動についての指導、現地確認
【主な予算費目】	6-1-12-18 負担金補助及び交付金より支出

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

市内多面的事業活動組織(全15組織)へ補助金を交付し、活動に対する指導を行った。
 活動組織15組織のうち、11組織について、広域組織化検討委員会を開催し、広域組織化した。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

前年度実績報告の確認及び国への実績報告事務、交付金申請及び集落に対しての実施状況確認や活動に関する助言、指導。
 広域組織運営設立に伴う通常総会の開催。

③予算の主な増減の理由

広域化に伴う交付対象事業面積が増加することによる歳入・歳出額の増

成果指標

ア 農業関係集落の事業参加率

(単位)

データ取得方法

→イウ

%

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5	37.5
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円	32,462	32,103	34,667	32,280	34,851	34,851	34,851
	地方債	千円							
	その他	千円			70	70			
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	11,012	10,986	12,044	11,147	11,711	11,711	11,711
(A) 事業費計	千円	43,474	43,089	46,781	43,497	46,562	46,562	46,562	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

地域住民によって農地や農業用施設が適正に維持管理された。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)